



アドバイス

◆ 資格取得になぜ力を入れるのか？

経営情報学科では、企業経営や地域政策に携わる人材の育成を重視しています。こういった考え方から、就職活動に少しでも有利になるようにと、資格取得の活動に力を入れています。資格取得は、その人の実力の証明になるものと考えます。就職のことを考えて、できるだけ早い時点で資格を取得できるよう、そして、より高度な資格に挑戦できるよう、計画的に学習を進めましょう。

◆ どのような資格に挑戦すればよいか？

経営情報学科のカリキュラムは、企業経営や地域政策に加え情報技術に関する学問分野をあわせ持っています。また、学生としても自分の適性や希望があると考えられます。したがって、自分が今後進もうとする方向をよく考えて、受験する資格を選択すべきです。そして、受験する資格を決めたら、受講する科目もそれに合わせて選択するとよいでしょう。次頁の一覧表は、大学在学中に取得可能な資格の内、本学科の学生に取得を推奨しているものを示しています。

◆ 授業は受験とどのように関係しているか？

経営情報学科では、資格試験に学生が挑戦することを考えて、カリキュラムを最適化し、授業の内容が少しでも受験に有利になるよう工夫してきました。次頁の一覧表に代表的な科目名を上げましたから参考にして下さい。科目によっては、さらに先生が補習授業をして実力アップをはかってくれる科目もあります。しかし、正規の授業や補習授業だけで資格試験をクリアできるものではありません。あくまでも学生諸君の努力が決め手です。

◆ 具体的にどのように勉強すればよいか？

学習するに当たっては、過去の問題から最近の問題まで、沢山の問題を練習すると、出題傾向がわかるとともに、自分の弱点を知ることができます。沢山の問題を実際に解き、実力をつけるやり方は、これまでに合格した諸先輩が等しく薦める方法です。ある先輩は、問題集を3冊はやらなければいけない、と言っています。なお、図書館の就職資料コーナーには受験の参考書類も揃えられています。活用して下さい。

◆ 受験はいつから？

授業を受けてみると、自分の実力がどの程度であるか判断できるでしょう。その結果を踏まえて、一步一步着実に資格を取得するよう計画しましょう。試験は受けてみなければわからないところがあります。問題を解く時の時間配分や受験時の精神状態がそうです。したがって、まだ実力が十分でなくても、早めに積極的に試験を受けて、慣れておくことが是非とも必要です。



おすすめ 受験資格

在学中に受験可能な資格試験	基本情報技術者	応用情報技術者
	ITパスポート試験	日本商工会議所簿記検定（1級・2級・3級）
	税理士試験	MOS試験
	ビジネス能力検定ジョブパス（2級・3級）	外務員資格試験（一般、一種・二種）
	ファイナンシャル・プランナー（FP）技能検定（2級・3級）	統計検定（1級・2級・3級・4級）
	貿易実務検定	社会保険労務士